



# よこはま

2021年 1月30日

第 225 号

日本労働組合総連合会神奈川県連合会  
横 浜 地 域 連 合

連絡事務所 〒231-0031 横浜市中区万代町 2-4-7  
横浜市技能文化会館 402号  
TEL. 045-641-6262 FAX. 045-641-6252

発行責任者 高橋 卓也  
編集責任者 高橋 直樹・加賀谷 護

## 年頭あいさつ

横浜地域連合議長 高橋 卓也

あけましておめでとうございませう。

横浜地域連合で議長を務めております高橋です。旧年中、横浜地域連合の活動に對しまして、ご支援ご協力いただきましたことに心より感謝を申し上げます。

昨年はコロナ禍の影響で計画していた活動のほとんどが中止や延期となり、これまで経験したことのない事態に陥りました。そのような厳しい状況下ではありましたが、活動の柱の一つであります「政策・制度要求と提言」については、60項目にまとめたものを横浜市中に提出し前向きな回答を多数いただきました。今後もコロナ禍が様々な活動に影響を及ぼしていくと思いますが、私は、「これまで積み上げてきた活動を継承して実現する努力をしていく」「実現するためにはどうすればよいのか」ということを皆で知恵を出して考える「創意工夫をして実現できれば、それがニューノーマルになる」という強い思いをもって活動していきたいと考えています。今年には横浜市長選挙と衆議院議員選挙があります。横浜地域連合としては、働

## 令和3年の年頭にあたって

く仲間の思いを受け止め、実現していただける方を市政、国政に送り出したいと思っております。様々な難しさを抱えての対応となりますが、しっかりと取り組んでいきます。横浜地域連合は14万人組

織です。この大組織の仲間が思いを一つにして取り組むことができれば、すばらしい結果を生み出すことができますと信じています。改めて全員参加での取り組みを推進をお願いします。今年の干支は「辛丑（か

のとうし）」で「辛」は痛みを伴う幕引き、「丑」は殻を破ろうとする命の息吹、そして希望という意味をもっている年とのこと。今年がどのような状況であろうとも、

役員一丸となって活動してまいりますので、引き続きのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



議長 高橋 卓也

あけましておめでとうございませう。横浜地域連合の皆様が新しい年を迎えられましたことを、心より喜び申し上げます。

今年、ウイズコロナ社会における安全・安心な暮らしと横浜の将来にわたる成長のため、市民、事業者の皆様と力を合わせて、力強く歩みを進めていく一年です。新型コロナウイルスは、近い将来、必ず収束します。冷静に未来を見定め、立ち止まることなく、前進してまいります。

みなとみらい21地区では、今春の神奈川大学新キャンパスのオープン、ロープウェイの運行開始など、さらなる賑わいが生まれます。5年目を迎える「ガーデンネットワーク横浜」を春と秋に開催し、花と緑に親しむ機運を2027年の国際園芸博覧会へとつなげ、夏に向けて「東京2020オリンピック・パラリンピック」やダンスの祭典「Dance

横浜市はこれまで、市民の皆様への命と暮らしを守りつづけるため、感染症対策の強化と経済再生の両立に最優先で取り組んでまいりました。今後、新型コロナウイルスの入院調整を行う専門チーム「Y-CERT」や、医師・看護師による疫

学調査チーム「Y-ABIT」をはじめ、総力を挙げて、急激な感染拡大を抑え、医療崩壊を防ぎます。市内中小企業・商店街への御支援やデジタル化、脱炭素化に取り組み、横浜経済の再生に力を尽くします。4月にスタートする中学校給食をはじめ、子育て、教育、福祉、多文化共生や防災・減災の施策の充実、文化芸術活動の御支援など、今年も皆様の健やかな暮らしと横浜の未来のため、全力で市政に臨む決意です。どうぞよろしくお願いたします。



横浜市長 林 文子

今年もよろしく

お願いいたします

議長 高橋 卓也

議長 代行 的場 信也

議長 代行 秋山 純一

副議長 柳井 健一

副議長 小田 泰司

副議長 高橋 徹

副議長 高橋 直樹

副議長 鈴木 一美

副議長 内田 秀和

副議長 寺田 浩

副議長 山口 聖

事務局長 加賀谷 護

事務局次長 小杉日出夫

会計監査 奥津 敏之

会計監査 鹿島 尚樹

東部地区連合議長 岡田 誠

西部地区連合議長 菊池 潤一

北部地区連合議長 石川 秀明

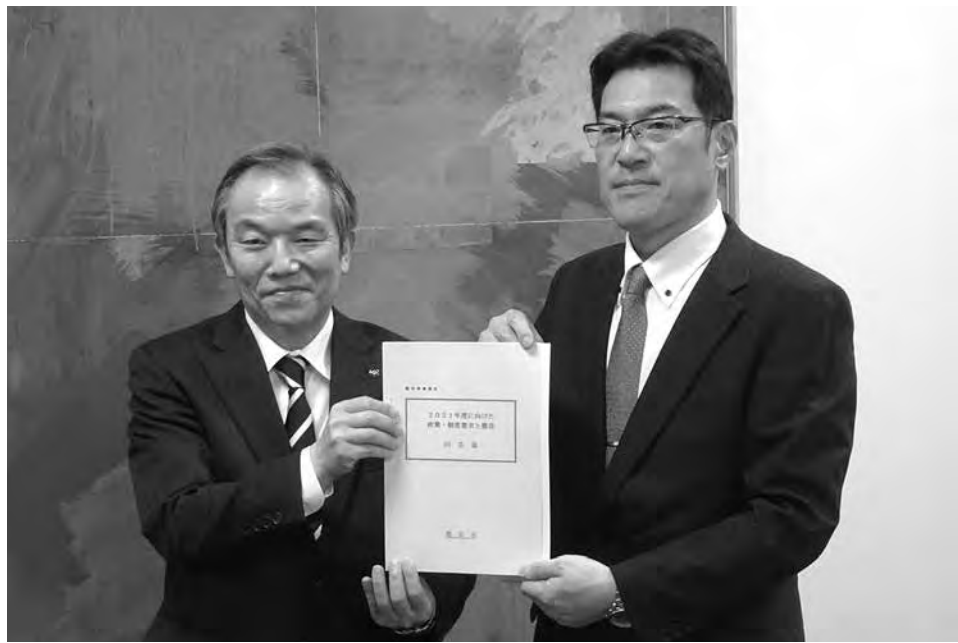
戸塚地区連合議長 大島 重利

戸塚地区連合議長 鐘ヶ江 博

書記 内田 栄

# 「2021年度に向けた 政策・制度要求と提言」について 横浜市より回答を受領!

12月24日、横浜市庁舎応接室にて「政策・制度要求と提言（9月1日提出）」の回答書が、林副市長から高橋議長に手交された。提出した要求と提言は、経済・教育・インフラ政策など60項目に及び、個々の課題について横浜市からの考え方が示された。その後、政策委員参加による関係局からの回答に対する詳しい説明を受け、第1回政策委員会を開催し情報を共有した。



林副市長から回答を受ける高橋議長



挨拶をする高橋議長



行政との意見交換会

高橋議長は手交後の挨拶の中で、「コロナ禍において就任した菅総理は、所信表明で『自助・共助・公助』という言葉を使ったが、私たち労働組合としての公助

『政策・制度要求と提言』の取り組みによる地域課題の改善を最重点として位置づけている。今年度についても、各地区連合や各構成組織から提出された要求を

にあたるのが『政策・制度要求と提言』への取り組みだと思ふ。私たちの活動が目指すものとして、働く者の労働条件の改善と共に、『政策・制度要求と提言』の取り組みによる地域課題の改善を最重点として位置づけている。今年度についても、各地区連合や各構成組織から提出された要求を

60項目に取りまとめ、さる9月1日に林市長に提出した。先ほど回答を頂いたが、それらの各項目に対して、誠意を持ってお答えいただいたことに対して、深く感謝を申し上げます。次年度の予算編成に向けて、370万市民を抱える全国最大の政令市として、市民が安心して、安全に暮らせる横浜の街づくりをお願いします。」と述べた。

続いて秋山議長代行から「感染症対策の課題」「デジタルファースト法に趣旨に

則った行政システムについて」の2点について、市当局の見解を求めた。林副市長からは、それぞれの課題に向けた対応について考え方が示された。

その後、例年回答式当日に連合神奈川や横浜労協とともに開催していた行政との意見交換会の代替として、林市長を交えての意見交換が市長応接室で行われた。当初は15分程度の予定だったが、30分に及ぶ活発な意見交換がなされ、コロナ感染症対策の現状等につ

はじめまして、私は運輸労働組合の副議長高橋です。今回コラムの依頼を受けて、何か思いがあればと言われたので、そこでコロナ過に関することを書かせていただきます。神奈川県への対応、何も県としての方向性を示さないことに憤りを覚えます。私たち運輸産業は物流を止めたいけません。同じく共に生活を支えるバス、電鉄の皆さんも国民の生活には不可欠です。感染拡大が増している中、物流を止めるなど言うだけで、対策と対応は企業に丸投げの状況です。弊社でも年末から感染者はだいぶ増えてきました。しかし、保健所は医療従事者、学校関係者、家族の濃厚接触者の対応はしますが、企業に対しては各々の判断をお願いしますが、状況です。企業判断のPCR検査費用は企業負担とか、感染者発生時の消毒費用は1営業所あたり約40万円です。弊社は一つ数百円の商品をお客様からお預かりして、数百円の利益を出して成り立っています。私たちも国民のために頑張っている以上、県としてはつきりと分かる明確な指示判断を示していただくことを強く要望します。

本来は、横浜地域連合との皆さまとの繋がりや、感謝の気持ちをここで伝えたいところですが、そこは次回機会があれば書かせていただきます。こんな私ですが、どうぞ今後ともよろしく願っています。



副議長 高橋 徹

いて情報共有することができてきた。

次に、政策委員の参加による「回答に基づく行政との懇談会」が開催され、「教職員の働き方改革、人材確保の取組に就いて」「ホームレス支援策について」「災害時の物資調達・災害備品の管理について」「廃棄物行政について」の4項目について、関係局担当者から政策委員会メンバーに対しての詳しい説明があり、こ